

機関紙 たいとう に
皆様の記事を
お寄せ下さい!

採用された方には
500円分のクオカードを
プレゼントします。

たいとう

東京土建一般労働組合

台東支部

〒110-0012 台東区竜泉1-15-2

Tel:03-3876-1966 Fax:03-3875-5965

Mail:taitou@tokyo-doken.or.jp

HP:http://doken-taito.jp

編集 杉本 郁代

原子力発電に依存しない エネルギー政策を



若者の声が原発反対運動に力を与えます

岸田政権は老朽化した原発の再稼働を積極的に推進しようとしています。2月にGX(グリーン・トランスフォーメーション)実現に向けた基本方針や関連法案を閣議決定しました。これにより、原発の新規建設や増設を進めようとしています。そのような状況下、3月21日代々木公園において「さようなら原発全国集会」が開催されました。

曇天の下、全国の各団体から4,700名の参加がありました。台東支部からは5名が参加しました。主催者挨拶では、呼びかけ人の鎌田慧さん、澤地久枝さん、落合恵子さんが訴えました。脱炭素が叫ばれている昨今、偽りのクリーンエネルギーとして、原発を推進しようとしている岸田政権に対しNOを突き付ける運動が重要です。地震大国の日本では、福島原発事故のよくなことが再び起こる可能性は大いにあります。原発事故が起きれば、広範囲にわたり環境が汚染されます。そして多くの人が避難を強いられ、現在も苦しんでいる生活を送っている人たちが多数います。また、ロシアのウクライナ侵攻で原発への砲撃は、戦時において核兵器の使用が無くても、制御不能、核爆発、そして放射能汚染の危険性があることを示しています。原発事故被害の甚大性は明らかです。

集会では福島からのメッセージやキャラバン隊の呼びかけがあり、甲状腺がんが苦しんでいる子供の話もありました。未だに体調がすぐれない人や避難生活を送らざるを得ない人もいます。事故が起これば被害は甚大で、修復の見通しはつかないでしょう。ただ安価に電力が作れるというだけで危険を顧みず、人権を無視してもよいものでしょうか。

世論の輪を拡げる

原発はいらない、さようなら原発の運動の輪を広げていかなければなりません。安心して暮らせる未来のために、今この運動が重要なのです。若い参加者も目立ち、彼女たちにとっても他人事ではないという気持ちがある。上野浅草橋分会 福田 俊昭



税務行政の民主化を訴える寺山委員長

岸田政権が「税務相談停止命令制度」を創設しようとしています。これは納税者は税理士資格のない人が税務相談を行った場合、財務省が相談停止を命じ得る内容です。この命令に従

3・13重税反対集会で訴え

わなかつたり、調査を拒否した場合は罰則が度々あります。これは納税者同士税金について学び、教え合う自主申告制度を否定するもので、税制について意見を述べたり、異議を唱える個人や団体の活動を抑え込む狙いがある

増税を許さない決意表明

浅草税務署と東京上野税務署管内に分かれて、3・13集会を蔵前公園と上野公園でそれぞれ開きました。蔵前公園では主催者挨拶に続いて各団体からの決意表明がありました。台東支部からは執行委員長 寺山さんより「増税を許さず、インボイスを導入させない。税務相談の自由をまもる」力強い訴えかけがありました。

集会終了後は税務署内で署長宛に重税に反対する決議文を託し読み上げ、集まった納税者が一斉に集団で確定申告を行いました。双方の税務署に合わせた約80人の参加がありました。

通信員

K・M

組合に税金の相談が出来なくなるのは困ります

と言えるのではないのでしょうか。税務行政の民主化を求めて、3月13日の重税に反対する台東区民集会が開催されました。



木洩れ日

「春眠を覚えず」というように、うらかな陽気は眠気を誘う。

うつらうつらというのも気持ちが良いが、夜の眠気という話が浅く思えてしかたがない。一晩中夢を見ていて朝になることもよくある。この夢というのがオールカラーで、味・匂い・痛みもわかるのだ。宇宙やイルミネーションなどの夢は鮮やかで美しいが、言い争いや勉強の夢はどっと疲れるので、「これは夢だからいいや」と早々に切り上げることにしている。

小学生の頃も天井の木目が人に見えて、恐くて眠れない時があった。よく学校で居眠りをしなかつたものだ。ぐっすり眠れたのは出産直後だった。たった2時間でも深い眠りでスッキリ目覚められた。まだ枕やマットを替えたり睡眠導入薬を使ってみようとは思わなかった。通販の商品が気になっ

てはいる。身体は休んでいても脳が忙しく動いている感覚は熟睡した気がしないからだ。質の良い睡眠を摂れているあなた、本当にうらやましい。

(S)

私の大切なもの ～分会リレートーク～

今月は浅草中央分会より2人目、小澤進さんに寄稿いただきました。

おじさんが亡くなり、1年が経った。わたしが組合に加入したのは、おじさんの勧めがあったからだ。共に集会に参加してデモ行進をしたり、分会や支部の会議に出たことを今でも思い出す。組合がおじさんの居場所だった。組合事務所や分会会議でおじさんに会えないのは寂しいものだ。組合の活動に顔を出せば、必ずいつどこかに姿が見えたから。そして顔を見かけると、いつも嬉しそうにしていた。そんなおじさんがいないのは、本当に悲しい

思いだ。私やおじさんがかつて住んでいた実家の建物が、今無くなるうとされている。30年以上住んでいた家が無くなった。様々な思い出がある。建物が解体された後、実家があった場所の前を通るたびに、そこに家があったことを思い出すのだろう。支部の役員を数年前に降り

たおじさんは、

これは分活の活動に専念できると語っていた。とても



浅草中央分会の小澤さん

楽しみにしていたようだ。まさか、こんなに早く亡くなるとは思っていなかった。叶うならばもう一度おじさんに会いたい。

※編集部註

おじさんとは、長らく支部・分会の役員をつとめた、故小澤茂通さんのことです

あさがお総会報告

2023年3月11日の土曜、女性の会あさがお総会を開催しました。11人と小人数での開催となりましたが、初めての方にも参加して頂き、充実した総会を行うことができました。最後の団結がんばろうの後に今回は本山副会長による座談会までできる単体操で身体をほぐして、総会を閉会しました。ここ数年はコロナの為お弁当は持ち帰って



最後にガンバロウで意思統一

単独山行記

3月1日始発電車

相模原の藤野駅へ向かいました。7時前に駅に着き、舗装路を30分ほどかけて歩き、陣馬山登山口より縦走を開始しました。平日のせいもあり、周囲には全く人がいません。民家の間を縫うように登山路を登り、途中からブナ林に入ります。9時

神奈川 陣馬山・景信山 東京 高尾山 縦走

半過ぎに山頂に着きました。天候にも恵まれ、富士山までよく見渡せました。

続いて景信山へ向かいます。途上の雑木林

調べたところ、ヤマガラやシジュウカラが生息しているそうです。11時過ぎに景信山に着し、澄んだ空気の中昼食休憩をとりました。その後高尾山を目指

した。登山客以外にも、尾山口駅に着きました。心地よい疲れと充足感を覚えつつ、高尾山登山路の中でも自然が色濃く残る6号路を降り、14時半に高

尾山登山路の中でも自然が色濃く残る6号路を降り、14時半に高

尾山登山路の中でも自然が色濃く残る6号路を降り、14時半に高

尾山登山路の中でも自然が色濃く残る6号路を降り、14時半に高

尾山登山路の中でも自然が色濃く残る6号路を降り、14時半に高

では落ち葉の上をカサコソ歩く、腹部が赤いめずらしい鳥を数羽見かけました。スマホで

気温が上がりに、霜解け後のぬかるんだ坂が増えはじめます。慎重に歩を進め、小仏峠を越え、13時半に高尾山着きました。山頂は平日にもかかわらず賑わっていま

気温が上がりに、霜解け後のぬかるんだ坂が増えはじめます。慎重に歩を進め、小仏峠を越え、13時半に高尾山着きました。山頂は平日にもかかわらず賑わっていま

気温が上がりに、霜解け後のぬかるんだ坂が増えはじめます。慎重に歩を進め、小仏峠を越え、13時半に高尾山着きました。山頂は平日にもかかわらず賑わっていま



陣馬山山頂モニュメント

「ミカルな暮らし」大笑い

渡辺えりがコンビに空井滋を迎え、新たな顔ぶれで老後の資金問題に立ち向かう、コメディ・ミュージカルを鑑賞しました

主婦の篤子(渡辺えり)は、家計に無頓着な夫(羽場裕)、おとなしい長女、優秀な長男との4人家族。篤子は契約社員としてコツコツと老後の資金を貯めている。楽しみは生花教室での仲のよい友達サツキ(室井滋)とのおしゃべりがストレス解消の大事な時間。そんな生活の中、長女の派手婚、姑への仕送り、舅の葬式資



上野浅草橋分会
本山 美知子

金、さら生存確認に訪問することに。サツキは姑の失踪。困ったサツキは篤子の姑に身代わりを依頼する。快く引き受けまんまと騙す老後の資金がドン減っていく。一方、サツキは姑きで姑が人生はいつまでもワクワクドキドキの冒険が必要と生き生きとしており、お姉さんとうまくいっている

嫉妬、自分が引き取ることに。サツキは姑の故郷奄美に帰り、自給自足の生活を決意、皆それぞれの生き方を選ぶ。「人生一番大切なものは、お金だけではない良き友達だ」と締め、唄って踊って手拍子をと、舞台と客席が一緒になってフィナーレを飾りました。

2月20日厚生文化部と女性の会・あさがお観劇会を企画しました。小雪舞う中の参加

でしたが、久々にお腹の底から笑えて楽しい時間が過ごせましたとのコメントをいただき、帰りはホットな気持ちになりました。次回の企画も楽しみに期待しましょう。